

令和6年度入学試験問題

地理歴史

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入ください。
3. 解答用紙は全科目を組みあわせてあるので、その中から自分が選択した科目だけを取り出して解答ください。
4. 解答用紙は、日本史3枚、世界史6枚、地理6枚です。
5. 選択していない科目を解答した場合は無効です。
6. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ2箇所あります。2箇所とも記入ください。
7. 試験終了後、選択した問題の解答用紙のみ回収します。
8. 問題冊子及び選択しなかった問題の解答用紙は持ち帰りください。

地理歴史問題

日本史	1	～	8ページ	世界史	9	～	19ページ
地理	20	～	32ページ				

日本史 B

I 次の問題文を読み、以下の問いに答えよ。

現在の愛知県域は、古代から近世まで、尾張・三河と呼ばれる国が置かれた場所であった。中世の歴史をみていくと、この地域は何度も大きな戦いの舞台となっていた。1181(治承5 = 養和元)年に起こった墨俣川の戦いは、いわゆる源平合戦の時代を通して最大級の戦いの1つであった。^①1221(承久3)年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府の北条義時を倒そうとした承久の乱では、京都に向かう幕府軍が尾張河(現在の木曾川)の戦いで上皇の軍と激しく衝突した。^②1335(建武2)年には、京都の建武政権から自立しようとした鎌倉の足利尊氏を討つために新田義貞の軍勢が東に向かい、矢作川の戦いで一旦は足利軍を破っている。

^④このような事態が生じていたのは、12世紀の末頃から、源頼朝による鎌倉幕府の草創など、鎌倉を中心とする東国が強大な武士勢力の拠点としての位置を占めるようになったためである。そうした歴史的な条件の上に成立した室町幕府は、幕府の所在地を京都としたもの、鎌倉を中心とする関東地方の動向にも常に注意を払う必要があった。その関東を支配するために、幕府は鎌倉府を置き、足利一族をその公方とした。しかし、京都の幕府と歴代の鎌倉公方は協調よりも対立を強めていったのである。そのため、尾張や三河は幕府の支配体制の中でも、東国に対する重要な拠点という位置づけを帯びることとなっていった。^⑦

問 1 下線部①に関連して、高校生の太郎くんはこの出来事を調べたいと考えた。

あなたはそうした太郎くんを、まず軍記物語の記述を読んで出来事の概要を知るように勧めることになった。あなたは何という軍記物語を勧めるのか。その理由とあわせて解答欄に記せ。

問 2 下線部②に関連して、次の史料A・Bを読み、以下の問いに答えよ。

A、私(源頼朝)は、決して(後白河)法皇さまに逆らおうとは思っていません。
……どうか以前のように、平家だけでなく、私ども源氏も一緒に、法皇さまの下で召し使ってください。……源氏と平家のどちらが、法皇さまのご命令を守って忠実に働く者であるのか、ご確認ください。

【『玉葉』1181年8月1日条より。源頼朝から後白河法皇への申し入れの部分。一部省略し、意識している】

B、あなた方(東国の武士たち)は、以前は京都の天皇さまや貴族の方たちを守る役割を強制され、遠く離れてなかなか連絡もとれない都へと動員されていましたね。任期は三年。自分の所領はどうなっているのか、家族は無事であるのか、不安な思いを抱えながら、偉い方たちから見下され、劣悪な環境での辛く厳しい仕事をさせられていたではありませんか。あなた方のために、そうした天皇さまや貴族たちへの義務を軽減してくれたのは、私の子で鎌倉殿となった源実朝さまでしたよね。源頼朝さまといい実朝さまといい、幕府の指導者はそうやってあなた方武士のために尽くして来たのですよ。その御恩を忘れて、(後鳥羽)上皇さまの味方となって鎌倉を攻めようというのですか。……

【『承久記』より。後鳥羽上皇の挙兵の報を受けた北条政子が、鎌倉の武士たちに行なった演説の一部を意識している】

問：AとBを読み比べたとき、源頼朝や源実朝が武士たちを率いる軍事組織(鎌倉幕府)の役割は、それぞれでどのようなものとされているか。その違いを述べよ。また、その情報を踏まえると、あなたは、武家政権が確立される過程で北条政子がどのような役割を果たしていたと考えるか。簡潔に述べよ。

問 3 下線部②に関連して、承久の乱で鎌倉幕府が軍勢を動員した地域は現在の静岡県、長野県より東の国々であった。あなたはここから、当時の鎌倉幕府のどのような特質が見出せると考えるか。簡潔に述べよ。

問 4 下線部③に関連して、このときの政治を「建武の新政」と呼ぶ場合と「建武の中興」と呼ぶ場合がある。あなたは、どのような理由で、どちらの呼び方がより適切であると考えるか。簡潔に説明せよ。どちらを適切であるとしても、評価には影響しない。

問 5 下線部④に関連して、この戦いの前に、足利尊氏は戦場に派遣する部下に対して「決して矢作川の西側に進んではいけない」と命じていた。矢作川は長野県南部を発して三河西部を流れ下り、三河湾に達する(江戸時代の工事でこの流路は変えられた)大きな河川である。この指示から、あなたは、建武政権と対立した当初の足利尊氏がどのような政権構想を抱いていたと考えるか。簡潔に述べよ。

問 6 下線部⑤に関連して、室町幕府の成立時、幕府は鎌倉に所在するのが妥当であるとの議論もあったが、結局は京都に幕府を置くこととなった。なぜ、そうなったとあなたは考えるか。その理由を、当時の京都を取り巻く状況のうち、政治・軍事的な側面、もしくは経済的な側面のどちらか1つから簡潔に説明せよ。

問 7 下線部⑥に関連して、15世紀に2度にわたって室町幕府と鎌倉の公方が大規模な衝突を繰り返すことになった。その2つの兵乱の名称と、その概要を、起こった年代順にそれぞれ述べよ。

問 8 下線部⑦に関連して、以下の史料A、Bは当時の尾張と遠江の守護であった斯波氏の活動に関わるものである。ここから、関東の兵乱に関して尾張がどのような具体的な役割を負っていたか、あなたの考えを述べよ。

A、関東の戦乱はいよいよ大変なことになっています。遠江守護の斯波さまの軍勢はすべて出陣しています。そのため、守護側から、これまでになかったような労働力の動員を命じられ、われわれも困り果てています。……

【1455年頃に、遠江の荘園から領主の東大寺に送られた訴えを、一部省略して意識した】

B、尾張では、遠江に派遣するために国内の多くの者たちを動員して武装させているが、大徳寺の寺領ではそれをやめなさい。……

【1460年、京都にいる斯波氏の重臣が、大徳寺からの訴えをうけて出した尾張での寺領保護の指示を、一部省略して意識した】

II 次の問題文を読み、以下の問いに答えよ。

1889(明治22)年に公布された大日本帝国憲法(以下、明治憲法とする)は、天皇大権のもとで行政権が優位に立つ構造となっている。その第4条「天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ」は、現在の^①日本国憲法が定める国のかたちと大きく異なるものであろう。ただ、こうした明治憲法の制定に至る過程には、さまざまな曲折があった。明治政府は^②早い段階から立憲制を樹立する意図を持っていたが、その具体的な内容については有力者の間で大きな落差があった。極端な例としては、明治天皇の側近であった元田永学が「日本帝国の憲法を立るは、……これ他無し。即ち^③推古帝の憲法を拡充し、大化大宝の制令法度を立るなり……」と述べる意見書を天皇に出すこともあった。これに対して伊藤博文のブレインとして明治憲法の起草にも当たった^④井上毅は「……近ごろ世に論ずるところの国憲または立憲または憲法と唱ふるものは一種政体の名称にして、古人のいはゆる憲法とはその名同一なりといへどもその実異種異様のものたり。……世に論ずるところの国憲なるものは即ち欧州のいはゆる『コンスチチュシオン』を翻訳したるものなり。^⑤『コンスチチュシオン』の政とは即ち『アブソリュ』の政に対するの名にして君権制限の政をいふなり……」と、近代ヨーロッパの歴史を踏まえた立憲制の本質に迫る議論を展開していたが、やはり政府内の^⑥慎重論にも配慮しなければならなかった。明治憲法は、そうした多くの思惑が絡み合う中での妥協点として結実した側面を有していた。

【引用した史料には一部省略した部分もある】

問1 下線部①に関連して、「天皇が元首として統治権を総攬する」という明治憲法の規定と対照的な日本国憲法の特徴はどのようなものか。あなたが重要と考えるポイントを2つ挙げ、そう考える理由を説明せよ。

問2 下線部②に関連して、明治政府が、具体的な内容はともかく、立憲政治自体は導入が必要と考えた背景として、どのような理由が考えられるか。当時の国内と国外の2つの面から、それぞれ理由を述べよ。

問 3 下線部③は具体的に何を指しているのか答えよ。また、それがどのようなものであるから「一種政体の名称」である立憲制の土台となる近代の憲法とは違うのか、あなたが小学6年生に説明するつもりで簡潔に述べよ。

問 4 下線部④に関連して、この人物は前出の元田永孚とともに「教育に関する勅語(教育勅語)」の起草にも当たっている。この勅語がどのようなものであり、以後の日本社会でどのような役割を果たしたか、あなたが重要と考えるポイントを取り上げて説明せよ。

問 5 下線部⑤に関連して、井上毅は「アブソリュ」を「専制」と訳した。具体的には絶対的王権による恣意的な行政を指すと考えられ、それを抑制する仕組み(「君権制限の政」)は近代の立憲政治形成の重要な要素であった。現在の日本国憲法において、行政権の独走を抑制するための仕組みとしてあなたが重要と考えることを簡潔に説明せよ。ただし、問1で解答したものとは異なることを取り上げるようにせよ。

問 6 下線部⑥に関連して、次の史料を読み、以下の問いに答えよ。

……立憲の大事まさに草創に属し、未だ実際の徴驗を経ず。その一時に急進して事後の悔をのこし、或は与へて後に奪ふのやむを得ざるあらしめんよりは、むしろ普国にならひ、歩々漸進し、以て後日の余地を為すに若かずと信ずるなり。

【1881年7月、右大臣岩倉具視が井上毅の意見書を採用し、それを自らの見解として政府首脳に示したものの末尾】

問 a 下線部の「普国」はどこを指すか答えよ。

問 b その国の憲法の特徴はどのようなものであるのか述べよ。また、なぜ、それに「ならう」ことが「歩々漸進」とされるのか簡潔に説明せよ。

問 c ここで「急進」といわれているのは、どの国の、どのような立憲政治であったか述べよ。

問 d 「与へて後に奪ふ」とは、具体的にどのようなことが想定されていたのか、あなたの考えるところを述べよ。

Ⅲ 次のA, Bの史料を読み, 以下の問A, 問Bに答えよ。

A, ……新羅は金承元たちを使者として日本に派遣し, 新天皇の即位を祝賀した。また, 同時に金薩儒たちを派遣して, 前の天皇の死去に対する弔意を示してきた。……新天皇は祝賀の使者である金承元たちを都に呼び寄せた。そして, 次のようにご命令を伝えられた。「新天皇である私は, 前天皇から継承したのではなく, 新たに自分の実力で反対派を打倒し, 国内を平定して, 天皇となったものである。従って, 今回は祝賀の使者だけがいればよいのだ」と。

【『日本書紀』673年閏6月15日・8月25日条より。一部省略し意識してある】

問A) この史料はどのような出来事のあとに出されたものか。その出来事の経緯について, この史料が述べる状況との関連が分かるように, 150字程度で説明せよ。

B, ……桓武天皇の命令によって, 藤原緒嗣^{おつぐ}と菅野真道^{すがのまみち}とが「天下の徳政(正しい政治)」について議論した。緒嗣は「今, 天下の人々が苦しんでいるのは, 戦争と大土木工事という二大事業の莫大な負担がのしかかっているためだ。これら中止すれば, 人々の負担が減り, みなぎ救われる」と主張した。真道は反対したが, 桓武天皇は「緒嗣の意見が正しい」として, 二大事業の中止を決断した。

【『日本後紀』805年12月7日条より。一部省略し意識してある】

問B) ここで述べられる「戦争」と「大土木工事」とは具体的に何を指しているのか。この時にそれらを中止することとなった経緯も含めて150字程度で説明せよ。

世界史 B

I 中央アジアの歴史に関する次の文章を読み、空欄(1)から(15)に適切な語句を記入して、後の設問に答えよ。

A 中央アジアでは、オアシスや交通路沿いに多くの都市が生まれ、交易や交流の結節点となってきた。(1)は西域と中国の境界に位置し、漢の武帝はここに郡を置き、西域進出の拠点とした。^①やがて仏教が西域に伝わり、五胡十六国時代にはクチャ出身の仏図澄や(2)が華北におもむいて布教や仏典の翻訳に従事し、(1)郊外の莫高窟では長きにわたり石窟寺院が数多く造営された。5世紀には(3)がモンゴル高原から西域に進出し、6世紀にこれを滅ぼした突厥が大勢力を築いたが、583年に東西に分裂した。隋の煬帝は、中国を統一すると西域諸国との交易を行った。^②唐の二代皇帝(4)は640年、西域に安西都護府^③を置き、西域を統治下に組み込んだ。唐はその後各地に勢力を拡大した^④が、周辺諸国の自立化や勢力拡大もあり、チベット高原では(5)が7世紀初めに吐蕃を建て、西域にも進出して、唐と抗争や交流を繰り返した。

B トルコ系遊牧民の(6)は745年頃に東突厥を滅ぼしてモンゴル高原を制圧した。彼らは東西交易の利益を獲得し、755年に勃発した安史の乱^⑤の鎮圧に協力するなど大勢力を築いた。だが彼らは840年に(7)の攻撃を受けて瓦解し、その一部は西に移住してトルファン盆地や天山山脈以南のオアシスに移住し、定住生活に入った。一方、西方からはイスラーム勢力が中央アジアに進出し、751年にタラス河畔で唐軍を破った。^⑥その後875年に成立したイラン系の(8)朝の下でイスラーム化が進み、10世紀に最初のトルコ系イスラーム王朝の(9)朝が成立し、トルコ系の人びとのイスラーム化が一層進展した。トルコ人はその後西方への移動を続け、11世紀には(10)朝がアナトリアに進出し、ヨーロッパ諸国が十字軍を起こすきっかけとなった。

C 17世紀後半、天山山脈の北でチベット仏教を信仰するオイラト系の(11)部が強盛となった。清は彼らと戦いを進める中で中央アジアへと版図を拡大し、モンゴル高原や青海・チベット高原にも進出した。これらの地域は(12)が管轄する藩部と総称された。清の乾隆帝は1755年に(11)を滅ぼし、のちに東トルキスタンを「新しい領土」を意味する(13)として版図に組み込んだ。一方、ロシアは17世紀から東方進出を続け、清と国境や通商の条約を結んできたが、19世紀になると、カフカス地方や中央アジアへの南下を本格化した。1871年、ロシアは清の辺境でのイスラーム教徒の反乱に乗じて出兵し、天山山脈の北の地方を占領した。これに対して清は左宗棠らが反乱を鎮圧し、その後に即位した(14)帝のもとでロシアと交渉を続け、1881年に(15)条約を締結して占領地を返還させた。

問 1 下線部①について、下の項目の中から、漢の武帝の治績として不適切なものを全て選び、記号で答えよ。

- ア 張騫を大月氏に派遣し、同盟を結んで匈奴を滅ぼした。
- イ 呉楚七国の乱を鎮圧し、中央集権体制を確立した。
- ウ 現在の広州に都があった南越を滅ぼし、南海郡などを置いた。
- エ 班超を西域都護として派遣し、西域諸国を服属させた。
- オ 逼迫した財政を立て直すため、均輸・平準などの経済政策を行った。

問 2 下線部②について、次の資料を読み、隋が西域諸国に対してどのような姿勢を取っていたかを簡潔に述べよ。

時に西域の諸蕃多く張掖[1.]に至り、中国と交市す。帝[2.]は矩[3.]をして其の事をつかさど掌らしむ。矩は帝の方に遠略[4.]に勤めるを知り、諸およそ商胡の至る者は、矩誘いて其の国俗・山川の險易を言わしめ、『西域図記』三巻を撰し、入朝して之を奏す。其の序に曰く、(中略)皇上は天をう膺け物を育て、華夷を隔てる無く、率土のそつど黔黎[5.]は化を慕わざる莫く、風行[6.]の及ぶ所、日入[7.]より以来、職貢[8.]皆な通じ、遠くより至らざる無し。臣は既に撫納

[9.]して関市を監知するに^よ困り、書伝を尋討し、胡人を訪採[10.]す。或いは疑う所有らば即ち衆口に詳らかにし[11.]、其の本国の服飾・儀形に依り、王より庶人に及ぶまで、各々容止[12.]を^{あきら}顕かにし、即ち丹青[13.]もて模写し、『西域図記』を^{つく}為り、共に三巻を成し、合わせて四十四国たり。(中略)^{まこと}諒に富商大賈の周遊経渉するに^よ由り、故に諸国の事、^{あまね}偏く知らざる^な罔し。

(『隋書』裴矩伝。金子修一氏の読解に基づく。一部改変)

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| [1.] 現在の甘肅省張掖市。 | [2.] 隋の煬帝。 |
| [3.] 隋の官僚の ^{はいく} 裴矩。 | [4.] 遠方を支配する方略。 |
| [5.] 天下の人民。 | [6.] 中国の良い気風。 |
| [7.] 太陽の没するところ。西方。 | [8.] 中国に対する貢納。 |
| [9.] 外国の使節を受け入れる。 | [10.] たずねて聞き取りする。 |
| [11.] 多くの人に聞いて確かめる。 | [12.] 姿かたち。 |
| [13.] 絵具。 | |

問 3 下線部③について、唐はトルファン盆地の高昌国を滅ぼして安西都護府を設置した。629年、唐の僧侶がこの国を経由し、インドに渡り、各地を歴訪して経典を持ち帰ったことが知られている。この僧の名前と、旅行記の書名を答えよ。

問 4 下線部④について、7世紀に唐は他の地域でも支配を拡大したが、朝鮮半島において660年と668年に滅ぼされた国の名前をそれぞれ記せ。

問 5 下線部⑤について、安史の乱前後の唐王朝の変質と滅亡にいたる経緯を、以下の語句を必ず用いて、260字以内で説明せよ。使用した語句には下線を付せ。数字も一字として数えよ。なお語句の使用順序・回数は問わない。

語句：募兵制 藩鎮 兩税法 玄宗 黄巢

問 6 下線部⑥について、(1)この戦いを契機として、中国からイスラーム世界に伝播した技術を答えよ。(2)その技術がヨーロッパ世界に伝わった経過と、与えた影響を簡潔に説明せよ。

問 7 下線部⑦について、(1)チベット仏教(黄帽派)の最高指導者の称号と、(2)17世紀にラサ郊外に築かれたその宮殿の名称を記入せよ。

問 8 下線部⑧について、1727年に締結された条約の名称と、その時の清朝の皇帝の名前を記入せよ。

問 9 下線部⑨について、(1)ロシアがアルメニアの帰属をめぐる争ったイランの王朝の名称と、1828年に締結した条約名を記入せよ。(2)次の地図は、19世紀初頭の中央アジアの河川と主要な交通路、都市の位置を示したものである。ロシアはブハラ=ハン国とヒヴァ=ハン国を保護国とし、コーカンド=ハン国を併合したが、ブハラ、ヒヴァ、コーカンドの位置を地図中から選び、記号で答えよ。



II ヨーロッパとアメリカに関する次の文章を読み、空欄(1)から(10)に適切な語句を記入して、後の設問に答えよ。

16世紀のカトリック教会は、プロテスタントの勢力拡大に歯止めをかけるべく自己改革を進めようとした。この動きは対抗宗教改革と呼ばれる。1545年からは(1)で公会議が開催され、教皇の権威を再び確認し、カトリック教会の勢力挽回をはかった。それに先駆けて、スペイン出身の(2)^①はフランシスコ＝シャヴィエル(ザビエル)らとともに、厳格な規律と組織で知られるイエズス会を結成し、カトリック勢力の回復に努めた。^②

この時代、キリスト教は大西洋を越えてメソアメリカ・南アメリカにも伝わった。メソアメリカでは前1000年ごろから(3)文明が展開し、14世紀には(4)人がテノチティトランを首都とする王国をつくった。また、アンデス高地では15世紀半ばにインカ帝国が成立した。これらの文明をつくった人々はのちにヨーロッパ人から(5)と呼ばれたが、それぞれの地方では石造建築や暦法など、独自の文化を築いていた。^③^④

15世紀末に大西洋を横断する航路がひらかれると、当時統合されたばかりのスペイン王国は積極的に海外進出をもくろんだ。スペイン王国は(6)と呼ばれた植民者の率いる軍隊をアメリカ大陸に派遣し、コルテスが1521年に(4)王国を、1533年に(7)がインカ帝国を滅ぼした。スペイン王国はキリスト教の海外布教にも熱心であり、(8)制を通じて植民者に先住民の保護ならびにキリスト教化を義務づけた。しかし多くの先住民は農業や、また1545年に発見された(9)のような鉱山での労働に酷使され、厳しい境遇におかれた。このような状況に対しドミニコ会士の(10)らが抗議の声をあげ、先住民の境遇の改善に努めた。しかしヨーロッパからもたらされた伝染病も一因となり、先住民の人口は激減した。^⑤^⑥^⑦

問 1 下線部①について、その具体的な施策を2つ挙げ、それぞれ一行程度で簡潔に説明せよ。

問 2 下線部②について、イエズス会の活動範囲はスペインやポルトガルの植民・交易活動と密接に結びつき、アジアにまで広まった。イエズス会の宣教活動が16世紀半ば以降の中国の文化に与えた影響について、その具体例を交えながら120字以内で説明せよ。数字・記号1字も1文字として用いよ。

問 3 下線部③のテノチティトランの位置はどこか。下の地図のa～dのなかから最も適切な記号をひとつ選び、記入せよ。



※地図に示した海岸線と当時の海岸線は必ずしも一致しない。

問 4 下線部④について、インカ帝国の人々が用いていた情報の記録・伝達方法を1つ挙げ、一行程度で簡潔に説明せよ。

問 5 下線部⑤について、1479年の統合は2つの国とそれぞれの王女・王子の結婚によりなされた。それぞれの国と王女・王子の名前を正しい組み合わせで記入せよ。

問 6 下線部⑥について、スペイン王国の海外進出の前段階には、イベリア半島における数百年にわたるレコンキスタの歴史があった。8世紀以降のイベリア半島における国家・宗教勢力の移り変わりについて、以下の語句を必ず使用し、250字以内で説明せよ。使用した語句には下線を付せ。数字1字も1文字として用いよ。なお、語句の使用順序は問わない。

語句：マラケシュ　西ゴート王国　アッバース朝　グラナダ

問 7 下線部⑦について、その結果として生じた新たな人の移動について、どのような人々がどこに移動するようになったのか、一行程度で簡潔に説明せよ。

Ⅲ 近代ヨーロッパに関する次の文章を読み、空欄(1)から(11)に適切な語句を記入して、後の設問に答えよ。

A 1832年、イギリスではホイッグ党内閣のもとで選挙法の改正が行われた。この法改正により、産業革命で力をつけた産業資本家をはじめとする中産階級が参政権を獲得し、政治的発言力を強めた。その後、工業の発展により増加しつつあった労働者も、人民憲章を掲げて参政権を求める政治活動(チャーティスト運動)を展開した。

この時期、工業化の進展にともない、労働問題も深刻化していった。このことを受けて、イギリスではオーウェンが労働者の待遇改善を唱え、フランスではサン＝シモンやフーリエらが労働者を中心とした新しい社会秩序を構想した。社会主義思想の誕生である。

1848年、マルクスとエンゲルスは『(1)』を発表し、国境を越えた労働者の団結を呼びかけた。マルクスとエンゲルスは自分たちの社会主義理論を「科学的社会主義」と称する一方で、オーウェンやサン＝シモンやフーリエの理論を「(2)」と呼び、それらを批判した。1864年には、各国の社会主義者がロンドンに集まり、マルクスを指導者とする(3)が結成された。

問 1 下線部①について、どのような法改正が行われたのか、その内容を述べよ。

問 2 下線部②について、

- (1) 人民憲章ではどのようなことが要求されたか、その要求内容について述べよ。
- (2) チャーティスト運動はどのような経過をたどったかを述べよ。

B フランスでは1830年7月の革命後に七月王政が成立したが、この七月王政においても1848年2月に革命が勃発した(二月革命)。この革命で国王のルイ＝フィリップはイギリスに亡命し、第二共和政が成立した。

第二共和政の臨時政府には社会主義者や労働者も参加した。しかし失業者のた

めに創設された(4)の閉鎖をきっかけにパリの労働者が蜂起するなどの混乱が続き、1848年12月の大統領選挙ではナポレオン1世の甥のルイ＝ナポレオンが当選し、大統領となった。彼は51年のクーデターを経て、52年の国民投票で帝政を復活させ、自らをナポレオン3世と称した。ナポレオン3世は積極的な対外政策を展開したが、1870年7月に始まる(5)^④に敗れると、帝政は崩壊した。1871年3月、(5)の講和に反対するパリの民衆は(6)と呼ばれる革命的自治政府を樹立した。しかし、(6)は臨時政府の軍隊によって攻撃され、激しい市街戦のすえ、5月に崩壊した。

問3 下線部③について、二月革命の勃発にいたるまでの背景または経緯について、180字以内で述べよ(句読点も字数に含める)。なお、解答に際しては下の5つの語句すべてを使用すること。使用した語句には下線を付せ。語句の使用順序は問わない。

語句：富裕層 労働者 パリ市民 制限選挙 選挙権

問4 下線部④について、ナポレオン3世の対外政策に該当するものを下のア～オの中から2つ選び、記号で答えよ。

ア. カーナティック戦争 イ. ロシア遠征 ウ. アルジェリア戦争
エ. メキシコ遠征 オ. アロー戦争

C クリミア戦争での敗北をつうじてイギリス・フランスとの国力の差を痛感したロシアは、近代化へ向けて社会制度の改革に取り組むこととなった。ロシア皇帝(7)は1861年に農奴解放令を発するなど、さまざまな改革を実施した。しかし、1863～64年のポーランドの反乱後、改革は後退し、皇帝による専制政治は再び強化された。農奴解放令の後、(8)と呼ばれる知識人階級(インテリゲンツィア)の一部が農村に入り込んで農民を啓蒙し、農村共同体を基礎とした社会主義改革を目指した。しかしこの運動は農民の支持をほとんど得ることができなかった。

改革後のロシアはフランスからの資本導入によって工業化を推進し、東アジア

への進出のために(9)を建設するなどの国内開発を進めた。農奴解放後、農村を離れた農民たちは工業部門へ流入したが、労働者の権利は認められず、彼らによる労働運動は弾圧された。また、農奴解放後も農民の地主への従属が続いたため、農民による暴動が頻発した。こうした情勢のなか、マルクス主義を掲げるロシア社会民主労働党や(8)の流れをくむ社会革命党が結成され、社会改革が目指された。

1905年に血の日曜日事件が起こると、これをきっかけに労働者のストライキや農民蜂起^⑤がおこった。皇帝ニコライ2世は事態収拾のために(10)を発した。1906年には、首相のストルイピンが農村共同体(ミール)を解体しようとしたが^⑥、かえって農村社会の動揺を招いた。

問 5 下線部⑤について、血の日曜日事件とはどのような出来事であったか、述べよ。

問 6 下線部⑥について、ストルイピンが農村共同体を解体しようとした理由は何か、述べよ。

D 1917年のロシア三月革命(ロシア暦では二月革命)^⑦の後、立憲民主党を中心とする臨時政府が樹立されたが、臨時政府は戦争を継続したため民衆の不満は高まった。1917年4月、ロシア社会民主労働党から分裂した(11)の指導者であるレーニンは、亡命先のスイスから帰国し、戦争継続の反対・臨時政府の不支持・全権力のソヴィエトへの移行などを内容とする「四月テーゼ」を発表した。レーニンやトロツキー^⑧らは11月(ロシア暦では10月)7日に(11)を率いて武装蜂起し、臨時政府を倒してソヴィエト政権を樹立した。翌日8日には、全ロシア=ソヴィエト会議で「平和に関する布告」^⑨や「土地に関する布告」が採択された。

問 7 下線部⑦について、この革命によって倒された王朝の名称を記入せよ。

問 8 下線部⑧について、1922年にソ連共産党書記長となり、レーニンの死後、トロツキーと対立し、彼を国外へと追放した人物はだれか、名前を記入せよ。

問 9 下線部⑨について、「平和に関する布告」ではどのような提案がなされたか、提案の内容を述べよ。

地 理 B

I 次の会話文を読み、以下の問に答えよ。

高校生の愛子さんと教男さんは、世界地図を広げながら、地球上の恒常風と海流について話し合っている。

愛子 「世界地図の上に海流を書き込んでみると、地球の上をまるでぐるぐると循環しているように見えるね。でも、暖かい海流と冷たい海流の流れ方には、何か法則があるのかな？」

教男 「そうだね。恒常風が描かれたもう1枚の世界地図をその海流の地図に重ね合わせてみると、風の向きと海流の向きとが一致するように見えるよ。たとえば、赤道付近では暖かい海流がおおむね(あ)に向かって流れているけれど、赤道あたりの低緯度帯の風も同じような向きに吹いているね。」

愛子 「それなら、北緯 30～60 度付近を吹く恒常風も、海流の向きと何か関係があるのかな。反対に、南半球の同じ緯度帯でも似たような恒常風が見られるけれど、ちょうどニュージーランドの首都ウェリントンあたりでは、その風が(い)の向きに吹いているね。」

教男 「もし、世界中で船を安全に航行させるなら、こうした恒常風の向きや海流の特徴を熟知していないといけないかもしれないね。」

問 1 (あ)に入る言葉として、適切なものを選べ。

北から南 西から東 南から北 東から西

問 2 (い)に入る言葉として、適切なものを選べ。

北西から南東 北東から南西 南西から北東 南東から北西

問 3 下線部 a) について、この恒常風の名称を答えよ。また、赤道付近でこうした恒常風が生じる理由を説明せよ。

問 4 下線部 b) について、大西洋と太平洋の北半球ではこの恒常風がそれぞれどのような海流を生じさせているのか。この恒常風の名称を答えるとともに、具体的な海流名を挙げながら説明せよ。

問 5 下線部 c) について、イギリス(サウサンプトン)を出発しアメリカ(ニューヨーク)を目指して航行していたタイタニック号が、1912年4月にニューファンドランド島の沖合で海上を流れていた氷山に激突して沈没した海難事故は、映画にもなって有名である。この付近では、なぜ氷山が流れていたと考えられるか。図1も参考にしながら説明せよ。

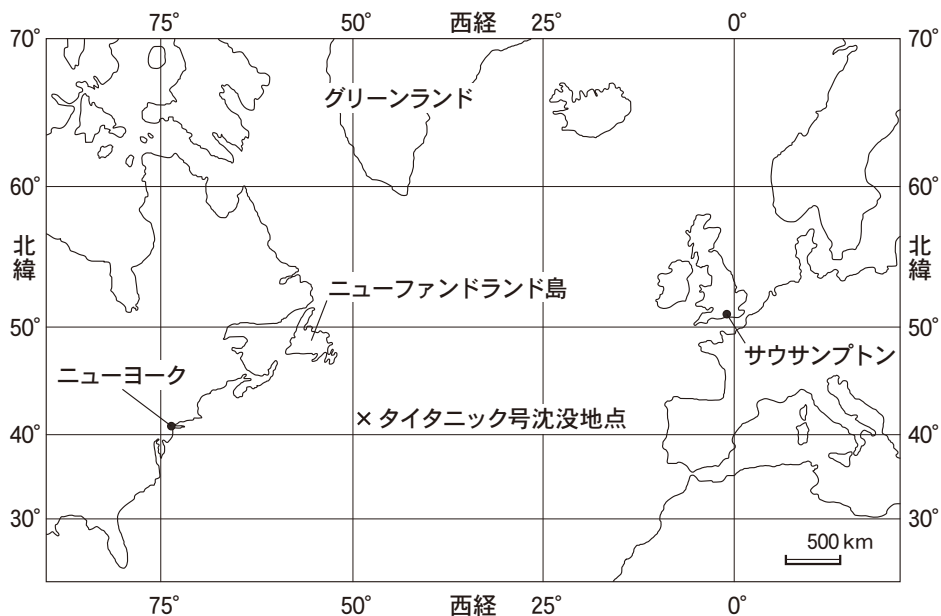


図1 タイタニック号の沈没地点

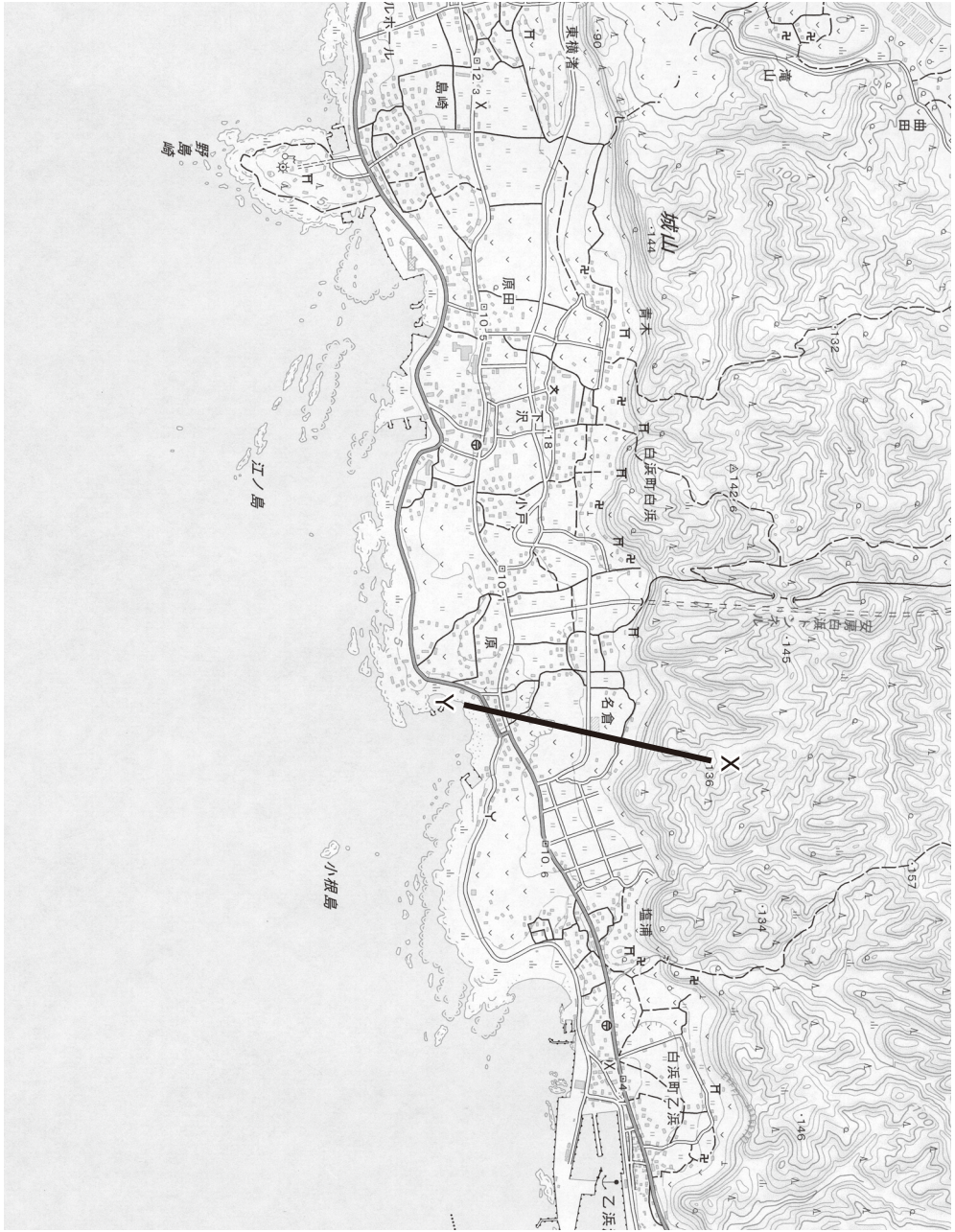
注：解答に直接関係のない情報は地図から省略している。

II 次の2枚の地形図ア、イを見て、以下の問に答えよ。

地形図ア(2万5000分の1原寸, 図幅「白浜」, 2017年発行, 一部改変)とイ(2万5000分の1原寸, 図幅「四天木」, 2016年発行)は、いずれも日本の海岸地形を表している。

問1 地形図アのX(標高136m)—Y(標高0.46m)の地形断面図を描け。また、描いた地形断面図から判断して、この海岸地形の名称を書け。

問2 地形図イに見られる海岸地形がどのように形成されてきたのか、地形図イ中の地名に言及しながら説明せよ。



ア



Ⅲ 次の文を読み、以下の問に答えよ。

世界の人口増加によって、エクメーネは陸地の 90 % ほどに拡大し、逆にアネクメーネは 10 % ほど^{a)}になっているが、その分布は不均等である。具体的には、アメリカ北東部や西ヨーロッパなどの地域では人口密度が高く、西アジア・アフリカ・オーストラリアなどでは人口密度が低い。

社会増加がなく自然増加のみがあると仮定すると、人口増加率は、(①)率と(②)率との差によって決まり、(①)率のほうが(②)率よりも小さければ、人口は増加する。

人口を歴史的にみると、特に西ヨーロッパでは、18 世紀後半から 19 世紀にかけて技術革新による社会や経済の変化をもたらした「(③)革命」が食料の増産や医療技術の進歩を引き起こし、人口は「(④)」から「多産少死」へ転換した。さらに、その後、西ヨーロッパでは「多産少死」から「少産少死」に変化した。

^{b)}一方、20 世紀後半のアフリカ諸国や発展途上国の中には高い(②)率が維持されたままで(①)率が低下したことによって、人口が急激に増加する「(⑤)」と呼ばれる現象が引き起こされた国もあった。

これらの地域や国以外では、20 世紀後半以降一時的に出生数が増加したものの、少子化が進んだ国もあり、65 歳以上の人口が全人口に占める老年人口比率が増大し、(⑥)社会へ移行したところも出てきた。

わが国に目をむけてみると、日本は 2010 年頃に人口のピークを迎えたがその後は減少に転じている。(②)率が低下し老年人口比率が高くなったことで(⑥)社会となり、(⑦)年齢人口の割合が低下することで(⑧)不足の問題が起き始めている。さらに、過密や過疎などの人口の偏在は日本の経済・政治・文化などに影響を与え、今後解決しなければならない課題であると言える。^{c)}

さて、ここまで自然増加についておもに取り上げてきたが、人口には社会増加も見られる。社会増加の原因のひとつに経済的な人口移動がある。例えば、1960 年代から 70 年頃には西ヨーロッパ諸国の工業化によって^{d)}(⑧)が不足したため、トルコや北アフリカなどからドイツやフランスへの人口移動が見られた。1970 年代から 80 年代にかけては、オイルマネーを求めて、西アジア産油国の工業化に伴

う施設建設のために多くの(⑧)がこの地に移動してきた。

このように人口増加は自然増加と社会増加の双方から見る必要がある。

問 1 (①)~(⑧)に適語を入れよ。

問 2 下線部 a) について、エクメーネとアネクメーネを説明せよ。また、その境界となりうる極限界・高距限界・乾燥限界についても説明せよ。

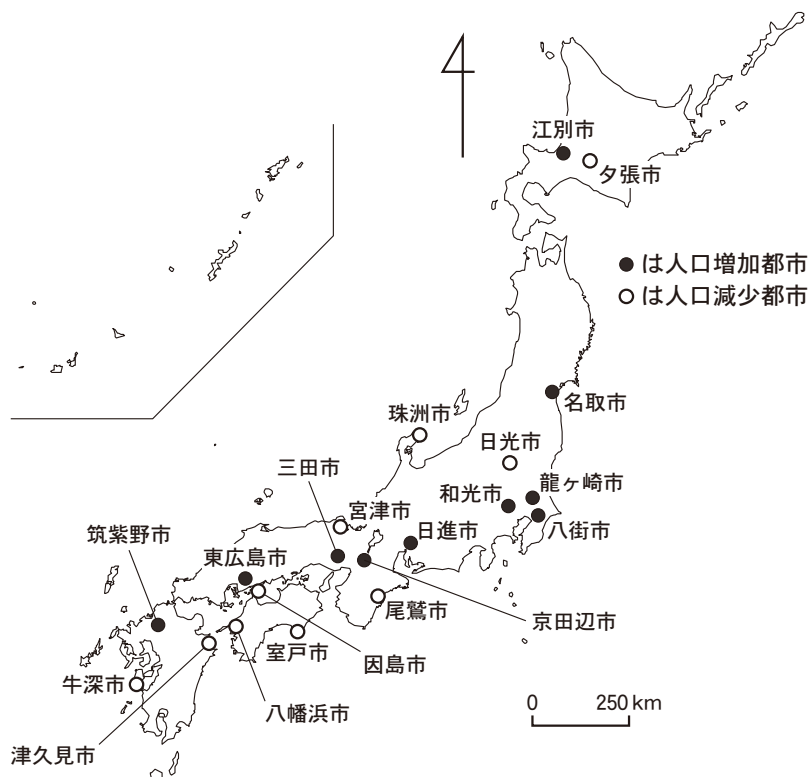
問 3 下線部 b) で、この時西ヨーロッパにおいて多産少死から少産少死へと移行した理由を説明せよ。

問 4 下線部 c) について，図 1 は 1990 年から 2000 年にかけて，人口が増加した都市の中で増加幅の大きかった 10 都市(図 1 では●，以下「人口増加都市」)と，人口が減少した都市の中で減少幅の大きかった 10 都市(図 1 では○，以下「人口減少都市」)を示している。

また，図 2 と図 3 は，人口増加都市と人口減少都市の就業構造(平均)を示している。

この図 1～3 をみて，人口増加都市と人口減少都市の位置や分布，就業構造の特徴を説明せよ。ただし，以下の語を全て用いて説明し，用いた語には下線をを引け。

大都市・ベッドタウン・農業・第三次産業



(注) 因島市は尾道市に，牛深市は天草市に，2006 年に合併された。
その他の市は 2023 年 7 月時点のものである。

図 1 1990 年～2000 年における人口増加都市(10 都市)と人口減少都市(10 都市)
(内閣府ホームページより，一部改変)

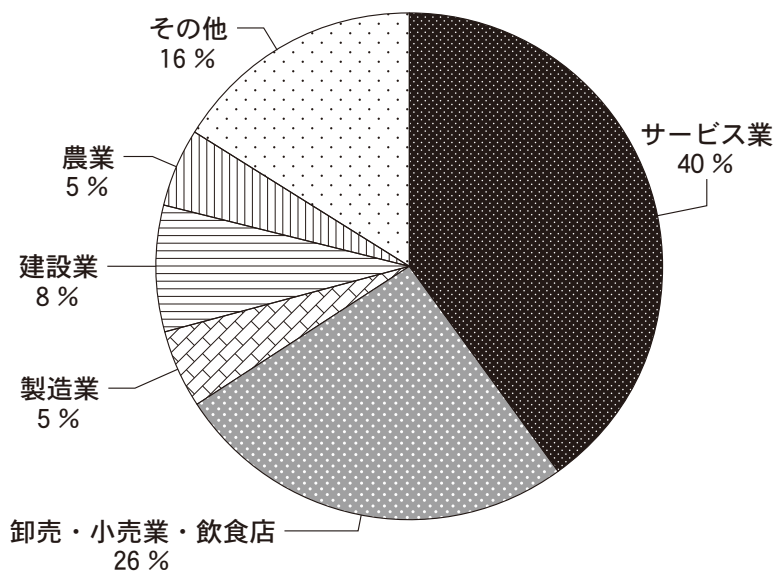


図2 人口増加都市(10都市)の就業構造
(内閣府ホームページより、一部改変)

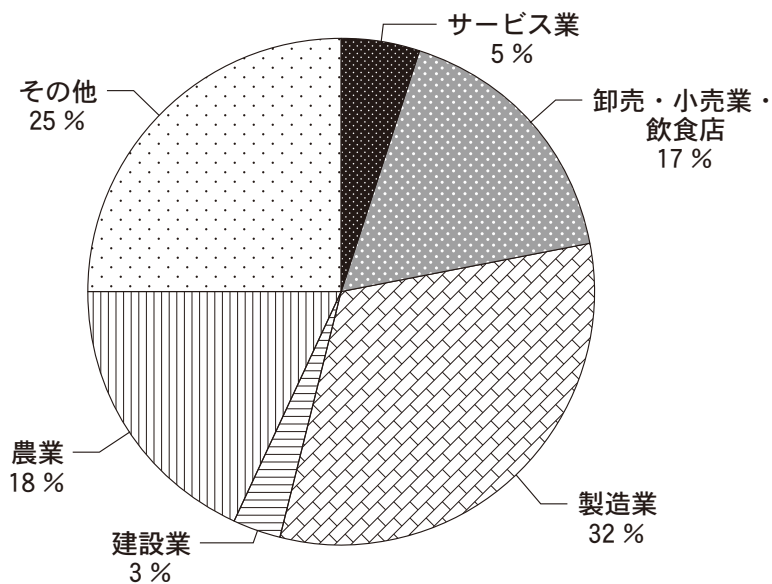


図3 人口減少都市(10都市)の就業構造
(内閣府ホームページより、一部改変)

問5 下線d)について、人口の移動理由には経済的理由の他に、「政治的理由」によるものや「強制的理由」によるものなどがある。それぞれの理由の意味を説明し、代表的な例を挙げよ。

Ⅳ 次の文を読み、以下の問に答えよ。

南アメリカ大陸は、東を大西洋、西を太平洋に囲まれ、北西で(ア)地峡によって北アメリカ大陸と区別される。地形的には、大陸西部と東部で、その標高が^{a)}大きく異なり、それぞれの成因も特徴的である。気候的には、温帯気候の南部、温帯気候から寒帯気候までを示すアンデス高地を除くと、大部分が熱帯・亜熱帯気候に属し、西部の海岸沿いには砂漠やステップなどの乾燥帯の気候がひろがる。このような自然環境を背景に、南アメリカ大陸の植生も多様である。アマゾン川流域には、スペイン語・ポルトガル語で「大森林」を意味する(イ)と呼ばれる世界最大の熱帯雨林が広がり、ブラジル中央部にはセラードやカンポと呼ばれるイネ科の丈^{b)}の高い草が茂ったり、低木も点在したりする草原がみられる。また、アルゼンチンには肥沃な草原の(ウ)がひろがり、世界有数の穀倉地帯の一つとして小麦やトウモロコシ、牛肉などの生産が盛んである。熱帯では、土中の有機物の分解が高温で速く進み、大量の降水で洗い流されるため、鉄とアルミニウムの酸化物が残った(エ)というやせた土がひろがる。

アマゾン川流域の熱帯雨林は、世界の原生林の3分の1を占め、二酸化炭素の貯蔵庫としての役割を果たしてきた。しかし、それは常に大規模な開発にさらされ続けている。例えば、ブラジルは、アマゾンの熱帯雨林の約6割の面積を占める一方で、その開発を1967年の世界最大級の(オ)鉄山発見や1970年代のアマゾン横断道路の建設とそれに沿った入植による農地開発によって本格化させてきた。放牧地や農地を開拓するため、熱帯雨林の野焼きや違法な伐採などが毎年発生している。また、(エ)の改良に成功したことで、大豆やトウモロコシはセラードからアマゾンの

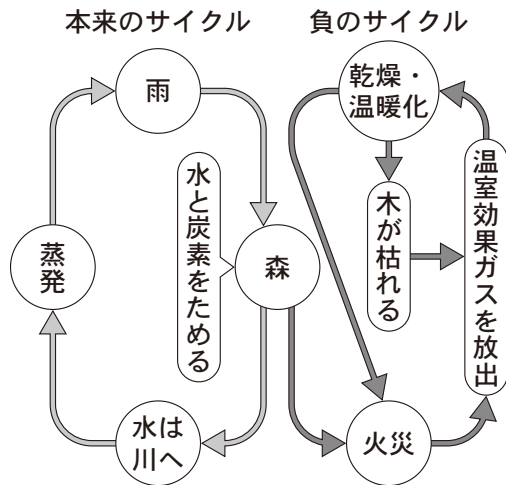


図1 アマゾンの熱帯雨林の水循環とその変化

(朝日新聞 2020年2月13日夕刊記事による)

承諾番号『24-1309』 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

熱帯雨林にかけての地域を中心に生産されるようになり、コーヒーとともにブラジルの主要な輸出農産物となった。

その一方で、アマゾンの熱帯雨林は、現在、後戻りできなくなる「転換点」にあると言われる。それは、熱帯雨林が野焼きや伐採により減少するなかで、森が降雨を蓄えて、それが川となり蒸発して降水をもたらすという水循環サイクルの一部が図1のように失われ、熱帯雨林の水と炭素をためる貯蔵庫としての機能が弱まり、温室効果ガスの排出源になっていくことを意味している。そのため、アマゾンの熱帯雨林の保護が持続可能な地球環境を保つために世界にとって重要となっている。^{c)}

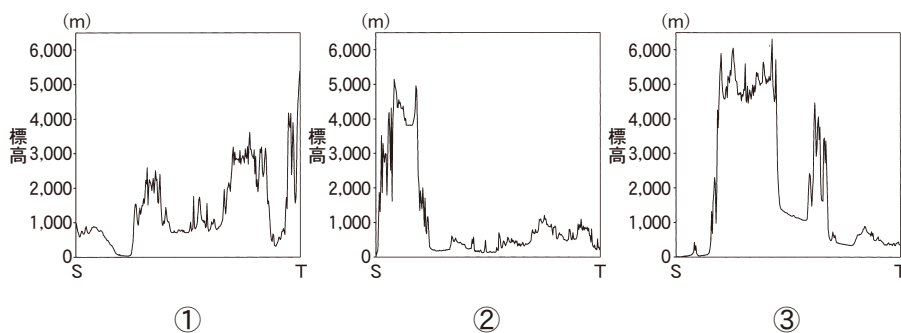


図 2

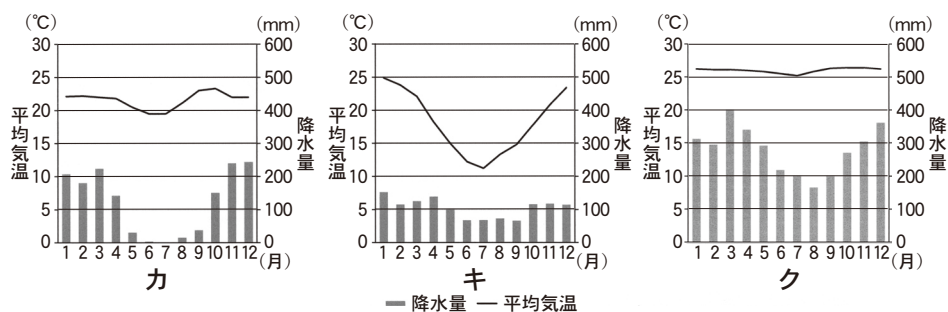
問 1 (ア)~(オ)に適語を入れよ。なお、(ア)・(オ)には地名が入る。

問 2 下線部 a) について、図 2 に示される南アメリカ大陸の S—T 間の断面図を次の①~③の中から選び、大陸西部と東部の地形の特色とその成因を以下の語を全て用いて説明せよ。なお、解答では、これらの語に下線を引いて示せ。

プレート 変動帯 安定陸塊

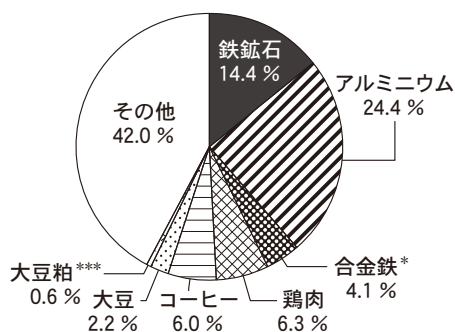


問 3 下線部 b) について、図 2 中の地点 Z の雨温図を下のカ~クから選び、このような植生をもたらす気候的特色を説明し、その気候名称を答えよ。

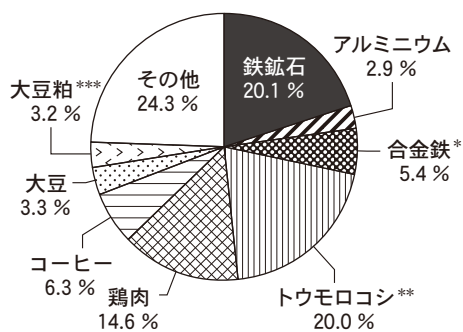


問 4 下線部 c) について、アマゾンの熱帯雨林を守るために、日本の人びとができることはどのようなことであろうか。ブラジルから日本への輸出品の構成割合を 1995 年と 2019 年で示した図 3 を参考にして、自らの考えを述べよ。

1995 年 (対日輸出額 32.6 億ドル)



2019 年 (対日輸出額 55.6 億ドル)



* 鉄にケイ素やマンガンなど他の元素を多量に加えたもので、製鋼の補助材料などとして利用される。

** 2019 年のブラジル産輸入トウモロコシの 87.8 % は飼料用である。

*** 大豆から油をしばった残りで、主に肥料・飼料に使う。

図 3 ブラジルから日本への輸出品の構成割合の変化
(各年の対日輸出額における割合を示す。https://oec.world により作成)